

はじめに

実践報告集「とねやま」第6号(令和5年度)の刊行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本年度もここに、刀根山支援学校実践報告集「とねやま」を発刊できますことを大変喜ばしく思います。本校は、皆様ご存じの通り、大阪府立の病弱支援学校でございます。本校・訪問教育部、大阪大学医学部附属病院分教室、大阪精神医療センター分教室、関西医科大学附属病院分教室、関西医科大学総合医療センター分教室の5部署で構成されております。昭和42年度の刀根山分校としての開設以来、創立56年目を迎える学校です。これまで、地域の病弱教育のセンター的役割を果たすべく、教育実践に取り組んでまいりました。その中でも、教育研究は、日頃より大きな使命の一つと捉え、その実践を広く府下の皆様に発信できればと考えているところでございます。

さて今年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、これまでオンラインを中心に行ってきた授業を、一部を除き対面で行うことができるようになりました。第6号は、これまで以上に「実践報告」が充実しています。

「わに(輪に)」をキーワードとした取組みを中心に、教員一人ひとりが大切にしてきた実践が満載です。まさに「子どもの成長を綴った宝物」であると思います。オンライン等のICT教育良し、また人と人とが直接つながるアナログ教育も良しといった具合です。こういった日々の実践を、是非、皆さまにもご一読いただき、忌憚のないご意見をお聞かせいただけましたら、幸いです。

最後になりましたが、今年度も、病院をはじめ関係諸機関の皆さま、保護者の皆さま、地域校の皆さまには多大なご協力とご支援をいただきましたことに、お礼申し上げます。これからも、刀根山支援学校と病弱教育に温かいご理解とご支援をお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

令和6年3月
大阪府立刀根山支援学校 校長